

NakinBi News

NARA AMT

No. 303

AUG.2019

一般社団法人 奈良県臨床検査技師会

〔事務局〕〒632-8552 天理市三島町 200

〔発行責任者〕勝山 政彦 〔編集責任者〕岸森 千幸

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 (TEL) 0743-63-5611 (7439)

緊急検査におけるピットフォール

天理よろづ相談所病院

潮崎 裕也

症例：70代、女性

主訴：血便

既往歴：高血圧、人工骨頭置換術後

現病歴：消化器系腫瘍手術目的で入院中の患者

項目	単位	基準範囲	今回	20日前
RBC	$\times 10^{12}/L$	4.35~5.55	3.70	3.06
Hb	g/dL	13.7~16.8	11.6	9.9
Ht	%	40.7~50.1	35.9	29.1
MCV	fL	83.6~98.2	97	95.1
MCH	pg	27.5~33.2	31.4	32.4
MCHC	g/dL	31.7~35.3	32.3	34
Plt	$\times 10^9/L$	158~348	133	134
WBC	$\times 10^9/L$	3.3~8.6	5.3	4.5
CRP	mg/dL	<0.14	0.86	0.31
溶血度	(1:10mg/dL相当)		0	1
UN	mg/dL	8~20	20.8	14.9
Cr	mg/dL	0.7~1.1	0.8	0.8
eGFR	mL/min/1.73	90~	53.8	53.8
Glu	mg/dL	73~109	103	110
Alb	g/dL	4.1~5.1	4.01	3.8
LD	U/L	124~222	198	203
AST	U/L	13~30	23	36
ALT	U/L	10~42	18	25
ALP	U/L	106~322	166	207
Na	mmol/L	138~145	142	144
K	mmol/L	3.6~4.8	P 6.0	4.2
Cl	mmol/L	101~108	106	110
Ca	mg/dL	8.8~10.1	P 5.7	9.0

*P：極異常値

<高カリウム血症および低カルシウム血症を認めた症例>

極異常値：カリウム 6.0mmol/L、カルシウム 5.7mg/dL

CBC：Hbの低下を認め、主訴に合致した所見と考えられる。

生化学：eGFRの低下を認め軽度の腎機能低下が考えられる。極異常値を認めた項目以外は

明らかな所見を認めなかった。また、補正カルシウムは血清 $Ca + (4 \cdot Alb) = 5.7$ であった。

＜高カリウム血症の鑑別＞

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 腎機能低下 | 2. 薬剤性 |
| 3. 酸塩基平衡異常 | 4. 溶血 |
| 5. EDTA 混入 | 6. 採血手技（クレンジング） |

本症例での高カリウム血症の原因は上記 1、2、5、6 が鑑別に上がる。カルテ検索上前回受診時と臨床所見に大きな変化がないことも踏まえ、EDTA 混入を疑い再採血となった。再採血の結果を表 1 に示す。

表 1. 再採血結果

項目		再採血	初回
ALP	U/L	187	166
Na	mmol/L	142	142
K	mmol/L	4.1	P 6.0
Cl	mmol/L	106	106
Ca	mg/dL	9.1	P 5.7
Mg	mg/dL	2.20	1.96
Fe	μg/mL	84	78

当院カルシウム測定法は MXB 法であり、EDTA 混入の際は比較的低下する。2019 年日臨技サーベイ調査ではカルシウム測定法はアルセナゾ-Ⅲが 1761 施設 (53.5%)、酵素法が 884 施設 (26.9%)、クロロホスホナゾ-Ⅲが 249 施設 (7.6%)、MXB 法が 192 施設 (5.8%) および OCPC 法が 179 施設 (5.4%) であった。本症例の各測定法における測定結果を表 2 に示す。EDTA 混入例ではアルセナゾ-Ⅲ、MXB 法および OCPC 法で偽低値が顕著である。一方、酵素法およびクロロホスホナゾ-Ⅲの施設は全国的に約 30% 使用しており、これらの施設ではカルシウム測定結果から EDTA 混入の指摘は困難である。

表 2. 本例におけるカルシウム測定法別結果

	アルセナゾ-Ⅲ	酵素法	クロロホスホナゾ-Ⅲ	MXB 法	OCPC 法
初回	5.9	8.8	9.2	5.7	5.8
再採血	9.3	9.2	9.2	9.1	9.1

＜まとめ＞

EDTA 混入例におけるポイントについて整理した。EDTA 混入例ではカルシウムがキー項目となるケースもあるが自施設の測定法によっては発見が困難なことがある。

< 生涯教育研修会のお知らせ >

急性冠症候群と高感度トロポニン検査について〔専門-20〕

講師：今林 浩章 氏（ベックマン・コールター株式会社）

日時：2019 年 8 月 9 日（金）18 時 45 分～20 時 00 分

会場：県立医科大学附属病院 スキルスラボ棟4F 中央臨床検査部技局

担当：臨床化学分野（生涯教育研修：専門-20）

会費：無料（非会員：3000 円）

【要旨】この度『急性冠症候群診療ガイドライン（2018年改訂版）』に心筋トロポニン測定が推奨されました。急性心筋梗塞や不安定狭心症、心筋突然死を含む急性冠症候群、これは、欧米での死因第一位であり、高齢化が急速にすすむ本邦も他人事ではなくなっています。今回、高感度トロポニン検査についてデータを基に、基本的なお話をさせていただきます。多数の参加お待ちしております。

【問い合わせ先】倉田 主税（県立医科大学附属病院） Tel 0744-22-3051（1225）

e-mail ckurata@naramed-u.ac.jp

超音波定期勉強会 3「超音波でみる骨盤内臓器について」〔専門-20〕

講師：太田 奈津子 会員（奈良県総合医療センター）

日時：2019年8月28日（水）18時30分～20時00分

会場：天理よろづ相談所病院 外来棟 5 階 中会議室

担当：画像検査分野（生涯教育研修：専門-20）

会費：無料（非会員：3000 円）

【要旨】今回は、婦人科領域を中心に前立腺、膀胱を含め骨盤内臓器の超音波像についてお話させていただきます。正常像から急性腹症の症例など、多くの症例を見ていただける勉強会になると思います。皆様のご参加をお待ちしています。

【問い合わせ先】植東 ゆみ（天理よろづ相談所病院） Tel 0743-63-5611（7447）

e-mail uehigashi_2017@yahoo.co.jp

貧血症例に強くなる！-データの読み方と検査の進め方・輸血の適応まで-〔専門-20〕

講師：中村 文彦 先生（奈良県総合医療センター）

日高 陽子 先生（東邦大学医療センター大森病院）

日時：2019年9月7日（土）14時00分～17時30分

会場：高の原中央病院 講義室(7階)

担当：輸血・移植検査分野（生涯教育研修：専門-20）

会費：無料（非会員：3000 円）

【要旨】今回は血液分野、輸血移植分野合同で、貧血について取り上げさせていただきます。

中村先生には貧血の検査・診断から治療に至る考え方について、日高先生には溶血性貧血時の検査の進め方と輸血用製剤の選択、臨床への報告ポイントについてご講演いただきます。なお、今回は電子メールによる事前申し込みとなっております。

申し込み期間：令和元年 8 月 5 日(月)AM0:00～8 月 31 日(土)AM0:00 まで

メール件名は『奈臨技血液・輸血部門研修会申込』としてください。

以下の必要事項を本文に明記してください

- 1) 氏名（フリガナ）・性別
- 2) 所属技師会および会員番号
- 3) 施設名 所属部署
- 4) 施設住所 電話番号
- 5) 連絡用メールアドレス

メール送付先：naringiyuketsu@gmail.com

お申し込み後、受付受理をメールにて返信します。1週間経過後も返信がない場合は、お問い合わせください。

【問い合わせ先】永井 直治（天理よろづ相談所病院） Tel 0743-63-5611（7437）

e-mail na.nagai@tenriyoroze.jp

会員・施設状況（2019 年 7 月 1 日現在）

[正会員数]	625 名		
[新入会]	2 名	[再入会]	1 名
[変 更]	2 名	[退 会]	1 名

実践！症例で見る不整脈〔専門-20〕

講師：坂井 優 会員（天理よろづ相談所病院）

日時：2019年9月13日（金）18時30分～20時00分

会場：天理よろづ相談所病院 外来棟5階 中会議室

担当：機能検査分野（生涯教育研修：専門-20）

会費：無料（非会員：3000 円）

【要旨】前回に引き続き、今回も不整脈の内容です。前2回を踏まえ、症例の心電図解説がメインの勉強会です。日頃から心電図検査をされている方だけでなく、心電図が苦手な方まで、どなたでもご参加ください！お待ちしております。

【問い合わせ先】白土 美佳（県立医科大学附属病院） Tel 0744-22-3051（4221）

e-mail mshiratsuchi@naramed-u.ac.jp

「奈良若草の会」発足のお知らせ

奈良県臨床検査技師会会長 勝山政彦

会員皆様におかれましては、平素より奈臨技活動にご理解・ご協力頂きありがとうございます。

昨年、皆様に奈臨技会員の活性化を目的としたアンケート調査を実施させていただきました。調査結果は、本年度の奈良県医学検査学会において報告致しましたが、年齢の違いにより奈臨技活動状況に関して意識の違いがあることがわかりました。

若手の意思・行動力を無駄にすることなく、また意欲を潰すことなく活動することが重要だと考え、奈臨技の組織強化と奈臨技会員の更なる活躍を目的とし、会長直属で若手の会を結成し、活動することを理事会で決定致しました。会の名前は「奈良若草の会」です。代表世話人には、アンケート調査実施・集計そして発表をしていただいた 阿部教行会員（天理よろづ相談所病院）にお願いしました。

若手を対象とした奈臨技会員のネットワークを構築し、交流の場を広げ、深めることで、奈臨技が活性化し、互いに向上し続けることを望みます。一人でも多くの若手の方の参加と、会員皆様のご理解とご協力をお願い致します。

「若草勉強会」

代表世話人を担当させていただきます、天理よろづ相談所病院臨床検査部の阿部教行です。

本会は、25歳から40歳くらいの方を対象とした企画です。新卒者ではなく、入職してから何年間か業務をこなしており、これから様々な検討を考えているような方をターゲットにしております。勉強会として、次のような内容を考えております。

- ・検討の企画の立て方、進め方の方法を学ぶ
- ・各分野で活躍されている技師さんに講演頂き技師力を磨く
- ・組織人としての臨床検査技師の在り方について研鑽する
- ・奈臨技会員の横の繋がりを強化する

本会に参加される方々が、奈臨技で臨床検査技師をしていて良かったと充実感を味わっていただけるような会にしたいという意気込みです

会長の熱い思いを受け取って頂き、世話人として共に企画に携わって頂ける方のご連絡をお待ちしております。

代表世話人連絡先

阿部教行 天理よろづ相談所病院臨床検査部

E-mail: abepenem@tenriyorozu.jp

令和元年度 日臨技近畿支部研修会

「臨床一般検査部門研修会 実習」開催案内

主 催：(一社)日本臨床衛生検査技師会 近畿支部
実務担当技師会：公益社団法人兵庫県臨床検査技師会

テーマ：～もう悩まない！一般検査鏡検のコツを学ぶ～

【日 時】令和元年8月25日（日） 9:00～17:00（受付8:30～）

【会 場】神戸常盤大学2号館 2401室・2301室・2201室

【プログラム】（内容や時間は多少変更する場合があります）

受付 8時30分	開会 9時00分
9時00分～10時50分 「鏡検のコツを学ぼう！そのⅠ」	
講演① 非上皮細胞類（血球類） 福井赤十字病院 刀根由美子 先生	
講演② 上皮細胞類 大阪市立大学医学部附属病院 滝沢 恵津子 先生	
講演③ 円柱・結晶類 神戸赤十字病院 八木 優太 先生	
10時50分～11時00分 休憩	
11時00分～12時00分 「鏡検のコツを学ぼう！そのⅡ」	
講演④ 体腔液検査 国立病院機構敦賀医療センター 佐伯 仁志 先生	
講演⑤ 寄生虫検査 神戸大学医学部附属病院 大沼 健一郎 先生	
12時10分～13時10分 ランチョンセミナー（予定）・昼休憩	

2. 実習 13時10分～17時00分
1. 尿沈渣標本鏡検実習
2. 寄生虫鏡検実習と標本作成実習
3. 体腔液鏡検実習と標本作成実習
4. 症例検討会 (4セクションをグループ毎に交代する)
17時00分～17時20分 フリータイム (標本を自由鏡検)
閉会 17時20分

今年度は「日臨技近畿支部 臨床一般検査部門研修会 実習」として鏡検に特化した実習を行います。基礎的な尿沈渣標本や寄生虫検査標本、体腔液のギムザ標本を鏡検していただき、寄生虫検査と体腔液検査については標本作成実習も行います。また、症例検討会も開催し、一般検査鏡検から病態全体を考察する力を養うことを目的とします。日頃苦手としていた細胞などを、自信を持って鏡検できるようになりましょう。

【受講資格】 一般検査部門経験5年以下の方を優先させていただきます。

※ 各級共に原則1施設1名先着順です。施設内優先順位をお書きください。

ただし、定員に余裕がある場合のみ複数名での受講を可能とします。

【参加費】 日臨技会員：6,000円、非会員：12,000円 (事前入金制)

【履修点数】 専門教科 20点

【定員】 初級：80名 (事前参加登録制。当日参加不可)

【申込受付期間】 令和元年7月12日(金)～(※定員になり次第終了します)

※上記期日前に到着したメールは無効とさせていただきますのでご注意ください。

Eメールにて件名を「日臨技近畿支部 一般検査部門研修会 実習申込み」とし、下記の内容(①～⑩)をもれなく記入し、送信ください。記入漏れがある場合は受講できないことがありますのでご注意ください。特に優先順位が重複、あるいは未記入の場合無効となります。

- | | |
|----------|-----------------|
| ①氏名 | ⑦日臨技会員番号 or 非会員 |
| ②所属施設名 | ⑧メールアドレス |
| ③所属施設の住所 | ⑨一般検査の経験年数 |
| ④施設の電話番号 | ⑩領収書の要否 |
| ⑤施設内優先順位 | ⑪認定一般検査技師資格の有無 |
| ⑥所属県名 | |

【申込メールアドレス】 kinkishibu2019@gmail.com

【申し込みに関する注意事項】

- ・お申し込み後、土日を除き2～3日中に確認メールをお送りいたします。
- ・期日までに振込みが確認できない場合はキャンセル扱いとし、次の申込者の繰り上げをさせていただきます。振込先などは、申込受領後にお知らせします。
- ・受講費振込み後のキャンセルは返金致しかねますのでご了承ください。
- ・携帯電話のメールによる申込みは基本的に不可とします。
ただし、パソコンからのEメール(gmail)を受信できる場合のみ可能とします。
- ・お申込みは1メールにつき1名とします。
- ・原則1施設1名とします。ただし、定員に余裕がある場合のみ複数名での受講を可能とします。

- ・施設内で複数名受講希望の場合は、必ず優先順位をご記載ください。施設内で参加希望の方が1名の場合は「1」と記入してください。
- ・電話、FAX、郵送での申込みは「申込み無効」とします。必ず上記アドレス宛にEメールにてお申込みください。
- ・ランチョンセミナーは予定です。ご自身で昼食の準備をお願いする場合もございます。

【研修会事務局】（申し込みメールアドレスではありません。ご注意ください。）

神戸大学医学部附属病院検査部 大沼 健一郎

E-mail: onumak@med.kobe-u.ac.jp（業務の都合上、E-mailにてお問い合わせください）

令和元年度 日臨技近畿支部 微生物部門夏季研修会開催案内

主 催：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

実務担当技師会：一般社団法人 大阪府臨床検査技師会

【テーマ】臨床微生物検査のスキルアップを目指して

【日 時】2019年8月31日（土）

【場 所】住友病院 14階 講堂（大阪市北区中之島5丁目3番20号）

【定 員】130名

【受講料】2,000円（非会員 3000円）

【日 程】

9:30～10:00 受 付

10:00～10:10 開講式／オリエンテーション

10:10～10:40 講義1：「血液培養の迅速報告への取り組み」

加古川中央市民病院 水阪 隆

10:40～11:10 講義2：「救急外来における血液培養汚染率低下への取り組み」

—消毒方法の変更とその効果—

杉田玄白記念 公立小浜病院 内田 達弥

11:10～11:40 講義3：「和歌山県下の耐性菌検出状況-6年間の調査成績-」

済生会和歌山病院 中松 純一

11:40～12:10 講義4：「NG-test CARBA5の検討」

公立甲賀病院 加藤 香

12:30～13:30 昼食（ランチョンセミナー）

「感染症診療に役立つ、DS（Diagnostic Stewardship）の実践！」

講師：九州大学病院 清祐 麻紀子先生

13:45～14:15 講義5：「住友病院とPOT法～導入から基礎検討、活用まで～」

住友病院 黒田 亜里沙

14:15～14:45 講義6：「奈良県下におけるVREの分子疫学的検討」

—VREアウトブレイク事例を経験して—

近畿大学医学部奈良病院 寺口 皓

14:45～15:15 講義7：「ワンヘルスからみる自然環境中の薬剤耐性菌分離調査」

—臨床分離株との関連性—

京都橘大学 健康科学部 臨床検査学科 藤原 麻有

15 : 25～16 : 00 特別講演：「私が思う臨床微生物検査技師」

講師：住友病院 幸福 知己

16 : 00～ 閉講式

【申込み方法】

日臨技会員の方は、HP より申し込みしてください。(WEB 受付開始は 6 月 20 日予定です。)

研修会終了後に懇親会を開催致しますので、参加希望される方は WEB 受付時にお申し込み下さい。

ただし、非会員の方は下記事務局宛に E.mail(携帯アドレスは不可)にて、件名に “令和元年度日臨技近畿支部微生物部門夏季研修会 参加申し込み” と記載し、施設、氏名(ふりがな)、電話番号、懇親会参加希望の有無を送信してください。なお、締め切りは令和元年 8 月 20 日とします。お申し込み後、4 日以内に事務局からの返信がない場合には、電話にてお問い合わせください。

【研修会事務局】

〒632-8552 奈良県天理市三島町 200

公益財団法人 天理よろづ相談所病院 臨床検査部

担当者：阿部 教行

電話：0743-63-5611, E-mail : abepenem@yahoo.co.jp

令和元年度 日臨技近畿支部 微生物部門秋季研修会開催案内

主 催：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

実務担当技師会：一般社団法人 京都府臨床検査技師会

【テーマ】Diagnostic Stewardship と薬剤感受性検査 ～「自施設で出来る」を学ぶ～

【日 時】2019 年 10 月 12 日 (土) ～13 日 (日)

【場 所】京都府立医科大学 1 階 第 2 実習室

【定 員】60 名

【受講料】10000 円 (非会員 15000 円)

【日 程】

1 日目 (10 月 12 日)

9 : 30～10 : 00 受 付

10 : 00～10 : 10 開講式／オリエンテーション・導入

10 : 10～11 : 00 講義 1 : 「Diagnostic Stewardship と薬剤感受性検査の重要性」

京都府立医科大学病院 感染症科 中西雅樹先生

11 : 00～11 : 20 講義 2 : 「NVS と *Corynebacterium* の薬剤感受性検査」

近畿大学附属病院 臨床検査部 古垣内美智子技師

11 : 20～11 : 40 講義 3 : 「非結核性抗酸菌症とノカルジアの薬剤感受性検査」

京都府立医大附属病院 谷野洋子技師

- 11：40～12：00 講義 4： 「嫌気性菌の薬剤感受性検査」
天理よろづ病院 阿部教行技師
- 12：00～12：20 講義 5： 「真菌の薬剤感受性検査」
西神戸医療センター 竹川啓史技師
- 12：30～13：20 昼食（ランチョンセミナー）
「ウィルスと呼吸器感染症」
講師：京都府立医科大学 感染病態学教室 中屋隆明先生
- 13：30～14：55 企画 1：（40 分）エッペンドルフ実技講習会「ピペットの正しい使用方法」
（40 分）メーカー機器展示説明
- 15：00～17：30 実習 1： 「薬剤感受性検査」
1) *Granulicatella adiacens* 2) *Corynebacterium* 属 3) *Nocardia* 属
4) *Mycobacterium abscessus* 5) 嫌気性菌 6) 糸状真菌・酵母様真菌

2 日目（10 月 13 日）

- 9：00～9：50 講義 6： 「対象菌種の感受性判定方法」
京都府立医科大学附属病院 山田幸司技師
- 10：00～10：30 実習 2： 「マイクロ流体チップによる薬剤感受性検査」
- 10：30～11：40 実習 3： 「各メーカー プレゼンテーション」
- 11：50～12：40 昼食（ランチョンセミナー）
「薬剤感受性試験の迅速化～マイクロ流体チップの応用～」
講師：大阪大学 産業科学研究所 松本佳巳先生
- 12：50～14：50 実習 4： 「前日の感受性検査結果判定・解説」
「マイクロ流体チップの判定」
- 14：50～15：00 総括
- 15：00～ 閉講式

【申込み方法】

日臨技会員の方は、HP より申し込みしてください。（WEB 受付開始は 8 月 18 日予定です。）
1 日目の研修会終了後に懇親会を開催致しますので、参加希望の方は WEB 受付時にお申し込み下さい。
ただし、非会員の方は下記事務局宛に E.mail(携帯アドレスは不可)にて、件名に “令和元年度日臨技近畿支部微生物部門秋季研修会 参加申し込み” と記載し、施設、氏名(ふりがな)、電話番号、懇親会参加希望の有無を送信してください。なお、締め切りは令和元年 9 月 30 日とします。お申し込み後、4 日以内に事務局からの返信がない場合には、電話にてお問い合わせください。締切日前に申し込みが定員に達した場合はキャンセル待ちを受け付けますので、事務局までメールにてお問い合わせ下さい。

【研修会事務局】

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路 上る 梶井町 465
京都府立医科大学附属病院 医療技術部臨床検査技術課
担当者：山田 幸司
電話：075-251-5654, E-mail：kyotobact@gmail.com

令和元年度 日臨技近畿支部 血液研修会 開催案内

主 催：(一社)日本臨床衛生検査技師会 近畿支部

実務担当技師会：奈良県臨床検査技師会

【テーマ】「一つ一つの細胞をみんなで考えよう～正常細胞から異常細胞まで～」

【日 時】令和元年 12 月 15 日（日）8：50 ～ 17：00

【場 所】奈良県文化会館 小ホール（〒630-8213 奈良県奈良市登大路 6-2）

【定 員】180 名

【受講料】8,000 円（非会員は全員加入保険未加入のため参加できません）

【日 程】

8：50 開講式、オリエンテーション

9：00 講演 1：「症例から学ぶ血液細胞の見方と考え方、そして失敗から学ぶこと」

講師：津田 勝代 先生（奈良県総合医療センター）

10:00 講演 2：「フローサイトメトリーおよび遺伝子検査の実際

～基礎から最新のトピックスまで～」

講師：丸岡 隼人 先生（神戸市立医療センター中央市民病院）

11:15 ランチョンセミナー「血球との対話 ～形態学を学ぶ者として～」

講師：通山 薫 先生（川崎医科大学） ベックマンコールター株式会社

12:30 講演 3：「白血球分類の自動化の過去、現在、そして未来」

講師：春日 加奈子 先生（セラビジョンジャパン株式会社）

12:45 症例解説 1～3 WEB での細胞写真事前分類の集計および各疾患の解説

14:45 スイーツセミナー：悪性リンパ腫を理解するための基礎知識

～リンパ系の仕組みから可溶性 IL2 レセプターの意味するところ～

講師：須長 宏行 先生（積水メディカル株式会社）

15:15 症例解説 4～6 WEB での細胞写真事前分類の集計および各疾患の解説

17:00 閉講式

【お申込み方法】（WEB 申し込みのみ） 受付期間：2019 年 8 月 26 日～9 月 20 日

①日本臨床検査技師会ホームページ内にある「会員専用ページ」よりお申込みください。

登録完了のメールが送付されますが、受講決定のメールではございません。

②受講者は記載されております口座へ受講料を期日までにお振込み下さい。

③受付期間終了後、受講者を決定の上、メールにてご連絡いたします(先着順)。

※参加費の振り込みをもって受講受付と致します。領収書は、後日 HP よりダウンロード可能です。

④症例は事前に WEB 上で細胞名および疾患を解答していただきます。そのためには ID の設定が必要となりますので、お申し込み時にメールアドレス(携帯電話不可)を必ず入力してください。解答方法については後日メールにてお知らせします。

【研修会事務局】

〒632-8552 奈良県天理市三島町 200

公益財団法人 天理よろづ相談所病院 臨床検査部 担当者：永井 直治

Tel：0743-63-5611 内線 7437 / Email：na.nagai@tenriyoro.jp

奈臨技行事予定

8 月		行事（略）	担当	8 月		行事（略）	担当
1	木			17	土	Basic cytology 第9回	細胞診
2	金			18	日		
3	土	Basic cytology 第8回	細胞診	19	月		
4	日			20	火		
5	月			21	水		
6	火			22	木		
7	水			23	金		
8	木			24	土		
9	金	急性冠症候群と高感度トロポニン検査について	臨床化学	25	日		
10	土			26	月		
11	日			27	火		
12	月			28	水	超音波定期勉強会 3	画像検査
13	火			29	木		
14	水			30	金		
15	木			31	土		
16	金						

* 行事参加される方は、奈臨技ホームページにて日程・会場等の変更の有無をご確認下さい*

* <http://naraamt.or.jp/> *

編集後記

今年は、梅雨明けがしないまま夏休みに突入しました。でもニュースが届く頃は、もう猛暑は嫌だのいうくらい暑くなっていることでしょう。今回、第36回奈良県医学検査学会で取り上げられた緊急検査のピットホールについて掲載しました。あと数回シリーズで血液、生体検査等も掲載する予定です。緊急検査に携わる会員の方にお役にたてればと思います。「奈良若草の会」が発足しました。会長の熱い思いを受け取って頂き、若い会員の方々が活躍される活発な会となると思います。奈臨技ニュースにも活動について取り上げていこうと思います。

広報委員 K